



○前略、研修会より 令和4年8月開催 兵庫区医師会会議室＋オンライン

第1回兵庫区 魁! 在宅看取り塾 を開催しました。

日時：令和4年8月18日（木）18時～19時30分

参加：48名（オンライン＋会場）

講演：「神戸なごみの家から学ぶ！暮らしの中の看取り」

講師：松本 京子 氏（緩和ケア認定看護師） 神戸なごみの家 理事長

訪問看護ステーションあさんて・はな 管理者



内容（ごく一部）～～～

- ・ホームホスピスとはどんなところか 生きようとする力が引き出される場所
生活を支える医療がある。家にいるように暮らしたいという希望を叶える空間。どういう自分であっても受け入れてもらえる安心できる居場所。とも暮らしをする仲間がいる。友人知人も訪ねてくる。ともに暮らし、伴走し、それぞれの意思を尊重しながら生活を支えるスタッフがいる。
- ・神戸なごみの家の理念
24時間365日病状や症状を見極め、生活を整える そして・・・最期まで生きることを支援する
- ・看護職・介護職は生命が最後まで自然であるように生活のあり方を工夫して創り出していく専門家である。
自然の死の過程をきちんと理解しておくことは、どこでどういうケアをしたらいいかを考える上ではとても重要なことである。なごみの家ではケアに関係する様々なテーマで勉強会を続けている。
- ・がんの終末期のケア ・生命が最期まで自然であるように向き合うには ・看取りの時期を見立てた本人・家族への支援 ・ケアとして大切なこと ・暮らしの保健室のご紹介

～～～ アンケートより ～～～

- ・生活を整えることの大切さ ・想いだけでなく、老いの道程を視覚化するや、死生観、悪液質等の勉強も大事。（薬剤師）
- ・患者のそのままの言葉を大切に家族に伝えることは素晴らしいと思った（相談員）
- ・家族介護者の不安な気持ちや、希望など今一度考え直し、側面から支援できるようサポートし、寄り添っていききたい（施設系介護職）
- ・私は訪問看護師として人の死に向き合う機会が多くあります。「死にゆく人を見るのではなく、最期まで生きる人を支える」松本さんの熱い想いが胸に残りました（看護師・保健師）
- ・死に対してネガティブに捉えてしまい、ACPや死生観を聞くこと話すことに苦手意識があったが環境やタイミングなどをもう少し工夫し話をしてみようと思うことができました。（看護師・保健師）
- ・訪問時だけではなく、利用者の方は生活されているということを忘れず、普段の生活というものを考え、サービス提供したいと思いました（訪問系介護職）



著書のご紹介

ホームホスピス「神戸なごみの家」の7年
「看取りの家」から「とも暮らしの家」へ

神戸なごみの家の住人と住人に寄り添うスタッフのいきいきとした暮らしを感じることができます。自分や自分の周りの人がどうしても自宅で暮らせなくなった時、神戸なごみの家のようなホームホスピスを選択肢にもっておきたくなりました。

～帯より～

ホームホスピスは、単に死を看取るところではありませんそこに暮らす人々の生活を丁寧に整え、日常を取り戻した時、いのちはもう一度、輝きます。
和解と別れに向けて一。

絵本の紹介

姫ちゃんはなごみの家のお姫様
ここに暮らす

なごみの家のあるじは頭がよく、心優しい姫ちゃんです。
姫ちゃんから見たなごみの家の暮らしが読める温かい絵本です。



高齢者施設の皆さま、感染症対策研修会のご案内です

令和4年度 第2回兵庫区医療・介護関係者研修

日時：令和4年10月6日（木）14時～16時

場所：神戸市医師会館4階大ホール

対象：兵庫区の高齢者施設職員・デイサービス職員
医療介護関係者

講演：「最新の新型コロナウイルス感染症対策（高齢者施設編）」

講師：岡本 みちる 氏（三菱神戸病院 感染管理認定看護師）



兵庫区保健センターより情報提供

「新型コロナウイルス感染症の現状と兵庫区の高齢者施設調査から見てきたこと」

昨年開催時の様子



申し込みQRコード



個人防護具の着脱実技あります
参加者全員分、ご準備しています

読売新聞オンラインより一部抜粋 地域＞兵庫＞ニュース 2022/08/26 05:00

第7波 高齢者施設疲弊 クラスタ多発 支援看護師 窮状訴え「全員感染 常駐医療者ゼロ」

新型コロナウイルスの感染「第7波」で、高齢者施設でクラスター（感染集団）が多発している。高齢の入所者は重篤な症状に陥り、施設で亡くなるケースも出ている。クラスターが起きた県内の施設で支援にあたっている医療従事者が取材に応じ窮状を訴えた。「施設に勤務する看護師が全員感染し、常駐する医療従事者はゼロ。残った介護職員らで、感染した入所者の面倒を見ていた」8月上旬、入所者ら約50人が感染した県内の高齢者施設に支援に入ったNPO法人「ジャパンハート」の看護師、宮田理香さんは、当時の状況をこう明かした。集団感染が起こった施設では、医療用マスクや防護服などの備えはあったが、現場の職員は正しい使い方を知らなかった。感染者の介護で使用した手袋を着けたまま自分の顔を触る職員もあり、宮田さんは「感染防止策を指導できる医療者がおらず、さらに感染が広がりがねない環境だった」と振り返る。

高齢者施設を巡っては、昨年4月、神戸市の施設で入所者や職員計140人が感染。認知症の入所者がマスクを外して施設内を行き来するなど、感染対策の難しさが浮き彫りになった。

第7波では既に200か所以上の施設でクラスターが発生。宮田さんは「施設側は『クラスターは防げない』という前提で、集団感染が起きた時に周辺施設と職員を相互に派遣するなどのカバー態勢を考えておく必要がある」と指摘する。

ただいま開催中「研修会リターンズ -動画で会いましょう-」

「参加したい研修会があったけど、日時が合わずに参加できなかった」といったことはありませんか？
研修会の動画があれば見せてほしい！というご要望にお応えして、このたび過去の研修会動画をご覧になれる研修会リターンズ ～動画で会いましょう～ を開催することになりました。ぜひご視聴ください。

第一弾

「家族の捉え方を学び、家族支援を考える」
講師は家族支援専門看護師の皆本美喜氏です。

動画配信期間 ～9月29日まで

開催時の様子



申し込みQRコード



第二弾 「多職種で支援する摂食嚥下障害
～訪問歯科医師から学ぼう編～」
講師は三浦康寛先生（なかにに歯科クリニック）です。

動画配信期間 10月1日から10月31日まで



申し込みQRコード



「兵庫区地域ケアネットワーク定例会」の秘密 ②

令和4年7月16日(土)14時から兵庫区地域ケアネットワーク定例会が兵庫区役所5階健康教育室で開催されました。
今年度の兵庫区地域ケアネットワーク定例会のテーマは「場をつなぐ」です。
担当は兵庫区地域医療連絡会です。



テーマ

「地域連携室が考える『場をつなぐ』とは ～兵庫区のことをもっと知ろう～」

第1部 地域連携室について ～患者さんの課題から資源を開発する意義～

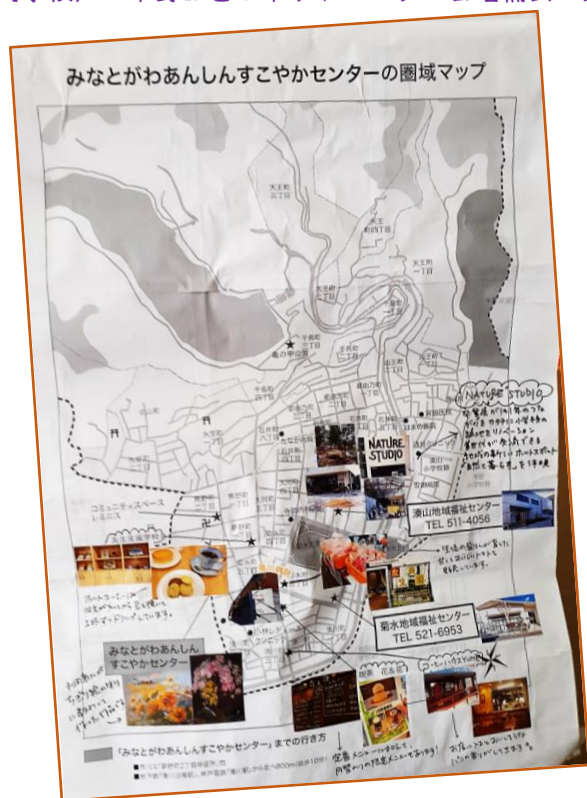
地域連携室に求められる役割・地域とのかかわり 健康格差や、身寄りが無い、貧困、老々介護、認知介護等さまざまな課題があり、病気を生み出す社会構造から変えていく必要がある。そのようなことから地域連携室に求められることは多様化しているが、病院、地域連携室だけで課題を解決することは難しく、多職種や地域と連携しながら、日々、課題と向き合っている。患者さんの生活は地域にあり、患者さんの困りごとは地域の困りごとでもある。地域には多くの資源があり、人と地域に好奇心を持つこと、地域でいろいろと活動されている人を知ることは、大切なことであると考えます。

第2部 兵庫区のことをもっと知ろう 地域の社会資源について

連絡会の皆さまが実際に訪問され、得た情報をご紹介します。

取材に行かれた場所はこちら (≧▽≦)

いきいき百歳体操(浜山圏域)・神戸百年記念病院の大丸須磨店の出張販売・VISSEL KOBEノエスタ農園・満福寺のまんぷく茶屋・神戸アートビレッジセンター・はっちゃんの手所・ひろみ荘(新開地)・LKslot(スロットの貸し出し)・こどもわくわく食堂(中道圏域)・東山商店街・手しごと市・友生農園・cafeリラっくす(友生支援専門学校)・平野おとこネットワーク・日曜補食・兵庫区社会福祉協議会 等



第3部 グループワーク 「事例を通して地域のつながりを考える」

- ・自分たちで足を運ぶことが大事で、今日がその一歩になればと思う。
- ・担い手がおらず、高齢者の方が頑張っておられる。まずは自分たちが出ていくこと。また、地域の文化に目を向けていくことも良い。



※兵庫区地域ケアネットワークとは・・・介護保険法の施行等新たな制度環境の中で、①保健・医療・福祉サービス事業に関わるものが、相互の協力関係を確保し、②各種サービス事業、地域の保健・医療・福祉活動、及び行政施策などに関する情報を共有し、③サービスの質的向上とサービス利用調整機能の向上を目指し、関係者による横断的連携のもと、地域包括ケアシステムの構築を図ることを目的とし、賛同する関係団体等によって構成されています。

※兵庫区地域ケアネットワーク定例会は、地域ケアネットワークに所属する関係団体が2か月に1回開催している研修会です。

兵庫区薬剤師会からのお知らせ

兵庫区薬剤師会主催「いきいきハツラツ事業」開催中！！

薬局で

フレイルチェックを
受けてみよう

おひとりでもご友人と一緒にでも
気軽にご参加ください！
詳しくはQRコードから



無料

フレイルとは…

「やせ」や加齢にともなう「筋力や運動機能の低下」により、介護が必要な状態に近づいていることを指します。
フレイルチェックを行うことで、いまのご自分の状態と取り組むべきことを知ってもらい、若返りを図ることができます。



実施期間

令和4年9月～12月

いきいきハツラツ事業参加薬局一覧

アイバ薬局	651-6108
オレンジ薬局	515-2707
神戸いちご薬局	685-0135
慈恵薬局	521-1901
スカイ兵庫薬局	579-1225
西部調剤薬局	575-6177
なでしこ薬局	515-3955
フロンティア薬局兵庫駅前店	652-9891
マリン薬局	521-2001
みゆき薬局	367-3916
薬局レオファーマシー	578-1171
薬局レオファーマシー大開通店	578-8278
夢野グローバル薬局	576-7743

(50音順)

予約方法はこちら

- 1 上記の薬局に直接電話をかけていただきます
- 2 薬局から日時のご案内を受けてください
- 3 当日手ぶらでお越しください（動きやすい恰好で）

研修会開催予定

開催予定日時	場所	テーマ
R4. 10月6日(土) 14時～16時	・神戸市医師会館 4階大ホール	令和4年度 第2回兵庫区医療介護関係者研修会 テーマ 「最新の新型コロナウイルス感染症対策（高齢者施設編）」 講師：岡本 みちる氏（三菱神戸病院・感染管理認定看護師）
R4. 10月1日(土)～ 10月31日(日)	令和4年7月開催の研修会動画をご視聴いただけます。	研修会リターンズ～動画で会いましょう～ 第11回兵庫区在宅医療スキルアップセミナー 「多職種で支援する摂食嚥下障害 ～訪問歯科医師から学ぼう編～」 講師：三浦 康寛 先生（なかつたに歯科クリニック）



Hyogoku三択クイズ 三択王にぶれはなる!!



1. ノエビアスタジアム神戸のある場所に、かつて（1949年から1960年）あったものは？

A. 競馬場



B. 競輪場



C. 競艇場



2. 石井川に架かる石井橋から山側に見える急な階段、通称「五十段」はどれ？

A.



B.



C.



答え 1. B. 神戸競輪場（1949～1960） 1970（昭和45）年には、旧競輪場跡地に球技専門の競技場として神戸市立中央球技場が設立されました。さらに、2001（平成13）年に、神戸ウイングスタジアム（愛称）として、現在の新しい球技場が誕生しました。

2. C. 兵庫区都由乃町にあります。

A. 映画「ローマの休日」で有名なスペイン階段。

B. 映画「アンタタッチャブル」の乳母車のシーンで有名なシカゴのユニオン駅の階段。

兵庫区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っています。
医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽にご相談ください。

兵庫区医療介護サポートセンター コーディネーター：青山・藤本

受付時間：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）電話：078-575-5711 FAX:078-575-5712

兵庫区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/area/hyogo>



★次号は令和4年10月発行予定です

※「兵庫区つなつな通信」第1号～今月号までホームページに掲載しています。
上のQRコード・URLからご覧いただけます。